

部活応援隊が行く!!

心身を磨いて全国で戦う

四日市ジュニアレスリングクラブ

四郷高校でレスリングを指導していた宇野勝彦さんが1986年に立ち上げた「四日市ジュニアレスリングクラブ」。年少から中学生が所属し、7月には全国大会への出場を控えています。

Q1 競技の魅力は？

A1 (五十樓選手) 自分に自信をつけられ、体と心を鍛えられるところが。過去に負けた相手に勝つときはうれしいです。

キャプテン 五十樓 葉斗さん
(いそづみ かくと)

Q4 今のチームの課題は？

A4 (五十樓選手) さぼってしまったり、いやになってしまったりすることがあるが、先生のいうことを聞いてお互いを応援し合えるチームにしたいです。



(宇野監督 同じ) 体重の選手同士で戦うので、体のハンディがないこと。練習すればするほど結果に現れるところも魅力です。

Q2 チームの強みは？

A2 (五十樓選手) みんな試合の最後まで諦めずに戦っているところがです。



Q3 現在の目標は？

A3 (五十樓選手) 7月に開催される全国少年少女選手権大会で優勝することです。

(宇野監督) 7月に行われる全国の少年少女レスリング大会での優勝。やるからには1番を目指したいです。



Q5 これから取り組んでいきたいことは？

A5 (宇野監督) 2021年の三重とわか国体が中止になり、現在2035年の開催を三重県は目指しています。その大会では四日市市から選手を出したいと考えています。



監督 宇野 勝彦さん

(宇野監督 同じ) いに少し弱いところがある。最後まで攻め切れる心と体を育てていきたいです。具体的な指示を出し、柔軟性がある子や力強い子など、一人一人の特性にあった技術を教えることを心がけています。



二次元コードを読み取ると四日市ジュニアレスリングクラブのコメントが見られます。



Q6 活動を通じて生徒さんにとって学んでほしいことは？

A6 (宇野監督) 心身を鍛えることで、心がやさしく、自主性をもって行動できる人間になってほしいです。

